

第161期  
上半期

# 株主の皆様へ

平成25年4月1日～平成25年9月30日

証券コード 5406

# KOBELCO

## お知らせ

- 「株主様見学会参加者募集のご案内」を6ページに掲載しております。

株式会社 神戸製鋼所

## 収益の改善と経営基盤の再構築を着実に進め、 事業のグローバル展開と構造改革を 実行してまいります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは昨年秋に体質強化委員会を立ち上げ、収益改善と中長期的な体質強化への取組みを開始しました。さらに、本年5月には経営基盤の再構築と、収益の『安定』と事業の『成長』に向けた「2013～2015年度グループ中期経営計画」を策定し、その達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。こうした取組みの結果、当上半期の当社グループの業績は、後述の業績のご報告にてご説明させていただきますとおり、赤字を脱し、利益を確保することができました。

しかしながら、当社グループの経営基盤の再構築は、いま

代表取締役社長

川崎博也



だ道半ばであると認識しております。このため、先々の資金需要や財務体質なども考慮したうえで、中間配当につきましては、見送ることとさせていただきました。株主の皆様におかれましては、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが、事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

足下の当社グループの取組みを申し上げますと、鉄鋼事業部門では、5月に米国で自動車用冷延ハイテン製造には不可欠な最新鋭の連続焼鈍炉の営業運転を開始したほか、長らく協議を進めてまいりました中国鞍山鋼鉄との自動車用冷延ハイテン製造拠点の合併事業に関し、正式調印を10月に行なっております。アルミ・銅事業部門でも、自動車用

アルミパネル材について、9月に製造拠点を中国に設立することを正式決定したほか、アルミ鍛造部品でも中国での能力増強が完了し、日米中の世界3拠点での鍛造部品一貫生産体制を構築することができました。

このほかにも、シェールガス革命によって廉価になった天然ガスを利用することで注目を集めているミッドレックスプロセスを利用した大型還元鉄プラントを米国で受注するなど、グローバル市場での事業展開を着実に進めております。

こうした取組みに加え、グループ中期経営計画で掲げた諸施策を実施することで経営基盤の再構築を図るとともに、鋼材生産の上工程を集約する鉄鋼事業の構造改革、圧縮機事業のグローバル展開や、燃料電池車向けの水素供給

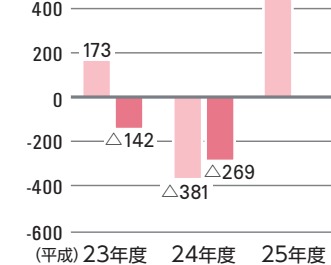
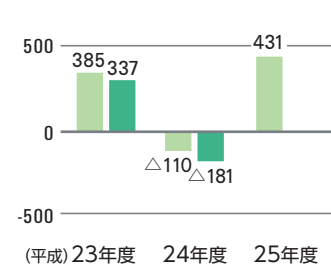
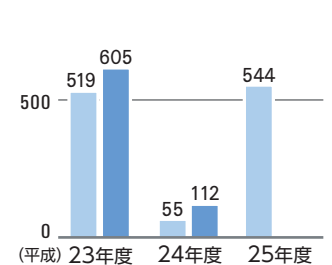
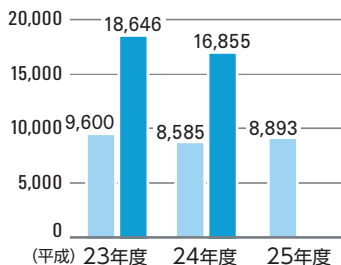
ステーション向け商品の開発など機械系事業の戦略的拡大、さらには電力卸供給事業の拡大の検討などを推し進め、収益の安定と事業の成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

※中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

## 業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)



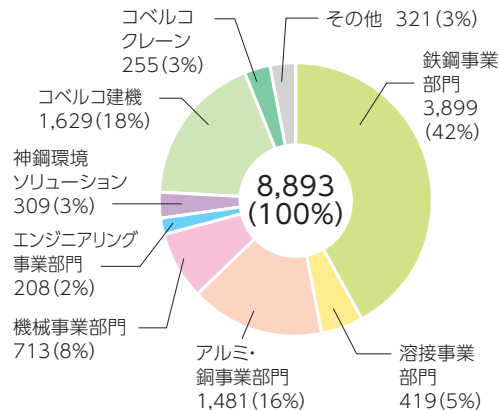
## ■当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、デフレ脱出を目指した金融政策や大規模な財政出動が打ち出されたことを背景に、昨年末までの超円高が是正されたことによる輸出産業の持ち直しや、震災からの復興に伴う需要をはじめとする公共投資の増加などがあり、回復基調が継続しました。また、海外では、欧州の景気は依然として低調に推移しましたが、米国において緩やかながらも景気回復基調が維持されました。一方、中国においては、引き続き成長を維持したものの、景気拡大が減速した状態が継続しました。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、鉄鋼事業部門において、鋼材の輸出環境に改善が見られる中、海外需要を着実に取り込んだことや、アルミ・銅事業部門においてアルミ圧延品、銅板条ともにIT半導体向けの需要が回復基調となったことなどから、販売数量は前年同期を上回りました。また、油圧ショベルの販売台数については、中国および東南アジアにおいて需要が低調でしたが、国内需要が震災復興需要を中心に増加したことから、前年同期とほぼ同じ水準となりました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期に比べ307億円増収の8,893億円となりました。また、総コストの削減が進んだことや、固定資産の減価償却方法を変更した影響及び在庫評価影響の好転もあり、営業利益は、前年同期に比べ489億円増益の544億円、経常損益は、前年同期に比べ541億円増益の431億円の利益となりました。また、当社保有のナブテスコ(株)の株式を売却したことによる投資有価証券売却益などを特別利益として計上した一方、神戸製鉄所の上工程設備を加古川製鉄所に集約する鋼材事業の構造改革を決定したことに伴い、神戸製鉄所の休止予定設備の減損損失を特別損失として計上しました。この結果、前年同期には投資有価証券評価損を特別損失として計上していたこともあり、四半期純損益は、前年同期に比べ823億円増益の441億円の利益となりました。

## 事業別売上高(平成25年度上半期) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額345億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額8,893億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



### 鉄鋼事業部門


## 3,899 億円

(前年同期比 +1.7%) ▲

- 鋼材販売数量：国内外の自動車向け需要回復、海外需要の取り込みにより前年同期比増
- 鋼材販売価格：主原料価格の上昇を受け価格改定を実施したものの、前年同期を下回る
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要低調、価格下落により前年同期比減
- チタン製品売上高：前年同期比増
- 経常損益：前年同期比396億円増益の155億円の利益



薄板コイル



### 溶接事業部門


## 419 億円

(前年同期比 △0.2%) ▼

- 溶接材料販売数量：国内の自動車、建築向け需要は回復基調も、国内の造船向け需要低迷、中国における景気減速継続の影響により前年同期比減
- 溶接システム売上高：中国の建機向けの需要低迷により、前年同期比減
- 経常利益：総コストの削減の進展により前年同期比17億円増の28億円



被覆アーク溶接棒

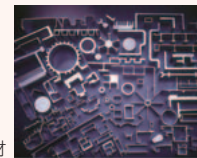


### アルミ・銅事業部門

## 1,481 億円

(前年同期比 +7.6%) ▲

- アルミ圧延品販売数量：自動車向けの需要堅調により、前年同期並
- アルミ鑄鍛造品売上高：海外の自動車向けの需要堅調により、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：半導体向け銅板条の需要回復、銅管の海外需要堅調により、前年同期比増
- 経常利益：前年同期比67億円増の80億円



アルミ押出成形材



## 機械事業部門

713 億円

(前年同期比 △11.7%)



- 受注高：石油精製・石油化学業界向けの圧縮機の需要堅調により、前年同期比23%増の742億円
- 当期末受注残高：1,407億円
- 経常利益：大型案件の売上計上が集中した前年同期比23億円減益の21億円



タイヤドラム試験機



## エンジニアリング 事業部門

208 億円

(前年同期比 +16.3%)



- 受注高：ロシア向け大型還元鉄プラントを受注したことなどから、前年同期比82%増の200億円
- 当期末受注残高：669億円
- 経常損益：前年同期比6億円改善の、1億円の損失



KOBELCOペレタイジングシステム



## 神鋼環境ソリューション

309 億円

(前年同期比 +5.9%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業の大型案件を受注した前年同期比25%減の368億円
- 当期末受注残高：494億円
- 経常利益：廃棄物処理関連事業での増収などにより、前年同期比7億円増益の10億円



相模原市南清掃工場



## コベルコ建機

1,629 億円

(前年同期比 +8.4%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期並  
〔国内〕震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増  
〔海外〕中国および東南アジアにおいて需要は低調
- 経常利益：前年同期比45億円増益の101億円



20トン級油圧ショベル  
[SK200-9]



## コベルコクレーン

255 億円

(前年同期比 +15.2%)



- 販売台数：前年同期比増  
〔国内〕震災復興需要により増  
〔海外〕欧州向けなどは減も、東南アジア向け増により、前年同期比増
- 売上高：前年同期比増
- 経常損益：円高の是正による輸出採算改善により前年同期比26億円増の17億円の利益



クローラークレーン  
Gシリーズ



## その他

321 億円

(前年同期比 +12.6%)



- コベルコ科研：ターゲット事業において需要が低迷
- 神鋼不動産：〔分譲事業〕引渡戸数が増加  
〔賃貸事業〕堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比2億円増の24億円



ジークレフ塚町  
レジデンス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。

● 鉄鋼事業部門 ○ アルミ・銅事業部門 ● エンジニアリング事業部門

## アルミ・銅事業部門

### 中国アルミ鍛造拠点能力増強設備稼働開始

当社が三井物産株式会社、豊田通商株式会社と合併で設立した、中国での自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の製造・販売拠点である「神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司」において、2011年12月から進めてきた能力増強工事が完了し、量産稼働を開始しました。生産能力が従来比倍増となったほか、溶解鑄造設備も併せて導入したことで、日本、米国に続き、世界で3拠点目の溶解から鍛造までの一貫生産体制を確立いたしました。



6,300トンメカニカルプレス外観

2013～2015年度グループ中期経営計画 発表

## エンジニアリング事業部門

### フェストアルピーネ社の米国還元鉄プロジェクトにおいて、MIDREX®還元鉄プラント新規受注

当社の米国子会社ミドルックス テクノロジーズ社がシーメンスインダストリー社と共同でフェストアルピーネ社から年産200万トンの還元鉄プラントを受注しました。今回受注したプラントは、ミドルックス社が保有するMIDREX方式としては世界最大の生産能力となります。天然ガスを還元剤とするMIDREX方式は、シェールガス革命を背景に注目を集めており、当社グループは今後もグローバルな受注活動を積極的に進めてまいります。



MIDREX®プラント (イメージ)

2013

(平成25年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

## 鉄鋼事業部門

### 北米プロテックコーティング社で自動車用冷延ハイテンの連続焼鈍設備営業運転開始

当社と米国USS社との合併会社である北米 プロテックコーティング社で、自動車用冷延ハイテン製造向け連続焼鈍設備の建設工事が完了し、営業運転を開始しました。新設備は、最新鋭の機能を持ち、多様な冷延ハイテンが製造できるだけでなく、加工性を飛躍的に向上させた次世代製品にも対応可能です。今後拡大が期待される北米市場において、新設備を最大限に活用して、自動車用冷延ハイテンの需要を取り込んでまいります。



営業運転を開始した連続焼鈍設備 (CAL) 外観

## アルミ・銅事業部門

### 自動車用アルミパネル材で欧州Hydro社と技術協力契約締結

## アルミ・銅事業部門

### 中国における自動車用アルミパネル板材製造・販売会社設立決定

世界最大の自動車市場である中国において、日系アルミ圧延メーカーとしては初めての自動車パネル用アルミ板材製造・販売会社を中国天津市に設立することを決定しました。中国でも燃費向上のための自動車軽量化を実現する自動車パネル用アルミ板材の現地供給ニーズは日々高まっています。新会社は、2016年の稼働を予定しており、自動車メーカーの現地供給ニーズに応えてまいります。

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。  
<http://www.kobelco.co.jp>

当社は株主の皆様当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様見学会を実施いたします。今回ご覧いただくのは、**加古川製鉄所**と**コベルコ建機 広島事業所**でございます。つきましては下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。



**開催場所**：加古川製鉄所(兵庫県加古川市金沢町1)  
コベルコ建機 広島事業所  
(広島県広島市佐伯区五日市港2丁目2-1)

**対象者**：平成25年9月30日現在、当社株主1,000株以上をご所有の株主様

**募集人数**：加古川製鉄所 360名(各回90名)  
コベルコ建機 90名(各回45名)

※募集人数には同伴者も含まれます。

## 株主様見学会の概要

申込番号	開催場所	実施日時(平成26年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	加古川製鉄所	3月9日	8:50	13:00頃	JR加古川駅※
②			13:15	17:25頃	
③		3月10日	8:50	13:00頃	
④			13:15	17:25頃	
申込番号	開催場所	実施日時(平成26年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
⑤	コベルコ建機 広島事業所	3月14日	9:30	12:00頃	JR五日市駅※
⑥			13:30	16:00頃	

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

以下の点につき、あらかじめご了承ください。

※株主様見学会コースは徒歩での移動となります。途中何ヶ所か階段がございます。

※ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。

抽選の結果は2月上旬にご通知する予定です。

※同伴者様は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。

※以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。

- 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
- 同伴者様を2名以上ご記入の場合
- 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
- 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合

**応募方法**：同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。

(対象者の方にのみ、はがきを同封しております。)

**【締切日:平成26年1月4日(土)到着有効】**

**参加費**：無料

※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

**お問い合わせ先**：株式会社神戸製鋼所 法務部 株主様見学会係

TEL 078-261-4067

受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

## 〈これまでの開催実績(過去5回分)〉

	日時	開催場所	募集人数	ご応募総数
第8回	平成23年 11月	高砂製作所	240人	2,853通
第9回	平成24年 3月	加古川製鉄所	360人	2,825通
第10回	平成24年 10月	真岡製造所	240人	1,082通
第11回	平成25年 2・3月	神戸総合技術研究所・ 神戸製鉄所	285人	3,202通
第12回	平成25年 11月	高砂製作所	320人	2,039通

# 環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

## ■環境経営基本方針

### 「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

#### —— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協同

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

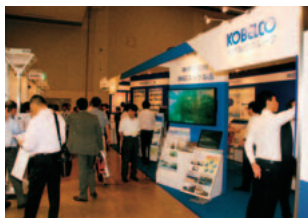
## ■「国際フロンティア産業メッセ2013」に出展

「BE COOL・BE SMART 兵庫・神戸から広がるエコものづくり」をテーマとして、2013年9月5日(木)・6日(金)に、神戸国際展示場で開催されました「国際フロンティア産業メッセ2013」に神戸製鋼グループも20を超えるメニューを出展しました。

今回も来場者の関心を引くとともに、多くの業界紙で取り上げられ、神戸製鋼グループの取組みを知っていただくことができました。

(主な出展製品等)

- ・エコメル、スラグ漁礁、移動電源車、フレア護岸、自動車軽量化技術、エコキューオン、森林整備活動、森の童話大賞 等



展示ブースの様子

## ■「フレア護岸」が全建賞を受賞

波浪時の道路護岸の越波対策のため、社のオンリーワン製品である「フレア護岸」は全国で採用が進んでいます。その機能が評価され、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所、当社、(株)千代田コンサルタントが、このたび国道10号別大拡幅事業で、一般社団法人 全日本建設技術協会が主催する「全建賞」を受賞いたしました。

なお、授賞式は6月28日(金)に東京都内で執り行なわれました。

フレア護岸は、従来の直立護岸に対して、緩やかな曲線の形状を持たせて「波返し」をさせる事で、越波を抑える事ができます。その結果、直立護岸よりも護岸高さを約6m低くしつつ、越波を抑えることを可能にしました。また、その他の特長として、景観性や生態系の保護、護岸上部の歩道などへの有効活用、などの利点があります。

当社は今後もフレア護岸の採用を通じ、高潮発生時における沿岸部地域の安全確保や環境保護に寄与してまいります。



賞状を手にするエンジニアリング事業部門 設置された「フレア護岸」  
・鉄構・砂防部の濱崎部長(右)



### 通常護岸とフレア護岸の違い





## ■「第1回 KOBELCO 森の童話大賞」

当社グループは従来から地域・行政の皆様からのニーズにお応えするため、従業員による実働・参画型の活動として森林整備活動(KOBELCOの森、ECOWAYの森)や神戸市が主催する「児童館出前エコ教室事業」に参画するとともに、地域に根ざしたNPO活動を支援してきました。

さらに、今年度からは、これらの活動を深化させる形で、「KOBELCO GREEN PROJECT」を創設し、そのシンボル事業として「KOBELCO森の童話大賞」をスタートさせました。

この事業は、全国の小学生、中学生、高校生から「森」をテーマにしたお話を募集し、審査を行います。金賞作品については、絵本作家による挿絵制作および絵本化を行い、兵庫県内の学校・公立図書館等に寄贈して環境啓発ツールとして活用していただく予定です。

森は様々な自然の恵みをもたらす重要な存在であり、次代を担う子供たちの心の中に、森を大切に思う気持ちを育てていくことが非常に大切な意味を持つという考えから今回の事業開始に至ったものです。

当社グループはこれからも、様々な活動を通じて地域社会への貢献を進めていきます。

審査結果発表:11月下旬  
表彰式:2014年1月26日(日)  
灘浜サイエンススクエア  
にて開催予定



## ラグビーを通じての活動

### 福島県にてラグビークリニックを開催

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、5月12日、福島県いわき市「ア・パーススタジアム」において、福島県内のラグビースクール生(小中学生合わせて約90名)を対象に、ラグビークリニックを開催しました。

各学年に分かれてパスやキック、ステップの練習やコンタクト練習などを行いました。

最後には、選手の30メートルを超えるロングパスやピンポイントキックを披露したほか、ラインアウトのリフティング体験を通じて、トップリーガーの技術を実感していただき、終始和やかな雰囲気の中、クリニックを終えました。



ラグビークリニックの様子

### 東日本大震災義援金に関するお知らせ

神戸製鋼コベルコスティーラーズは2012-2013シーズンのファンクラブ会員年会費の一部と、チームのオフィシャルパートナーであるキリンビバレッジ株式会社近畿圏地区本部のご協力により展開している「神戸製鋼コベルコスティーラーズ自動販売機」(現在53台設置)の設置先様売上金の一部、および昨シーズンの試合会場で実施した募金活動の合計1,128,486円を、東日本大震災義援金として寄贈いたしました。

神戸市中央区にある日本赤十字社 兵庫県支部で6月18日に行なわれた贈呈式には平尾誠二GM兼総監督が出席し、同支部 藤原雅人事務局長に対し目録を贈呈いたしました。

神戸製鋼コベルコスティーラーズはこれからも引き続き、被災地の皆様に少しでもお役に立てるよう、さまざまな支援活動を行なってまいりますと同時に、被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。



贈呈式の様子

## 事業分野

(平成25年9月30日現在)

### 鉄鋼事業部門

条鋼(普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼)、鋼板(厚板、中板、薄板<熱延・冷延・表面処理>)、鋼片、鑄鍛鋼品(船用部品・電機部品・産業機械部品等)、チタンおよびチタン合金、鉄粉、鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、各種特殊鋼製品、各種鋼線、電力卸供給

### 溶接事業部門

溶接材料(各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス)、溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、溶接関連試験・分析・コンサルティング業

### アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品(飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、磁気ディスク用アルミ基板)、銅圧延品(半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、リードフレーム、復水管、空調用銅管)、アルミニウム合金およびマグネシウム合金鑄鍛造品(航空機用部品、自動車用部品等)、アルミ加工品(自動車用部品、建材、建設用仮設資材等)

### 機械事業部門

エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、各種プラント(製鉄圧延、非鉄等)、各種内燃機関

### エンジニアリング事業部門

製鉄プラント(還元鉄)、各種プラント(ペレタイジング、石油化学等)、原子力関連プラント、砂防・防災製品、土木工事、新交通システム

### 神鋼環境ソリューション

水処理プラント、廃棄物処理プラント、化学・食品関連機器

### コベルコ建機

油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダー

### コベルコクレーン

クローラークレーン、ラフテレーンクレーン、作業船

### その他

不動産開発・建設・分譲・仲介・リフォーム、不動産賃貸・ビルマネジメント、マンション管理、特殊合金他新材料(ターゲット材等)、各種材料の分析・解析、高压ガス容器製造業、超電導製品、有料老人ホームの運営、総合商社

## 連結子会社および持分法適用会社 [211社]

※印は持分法適用会社であります。(平成25年9月30日現在)

### 鉄鋼事業部門：43社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、神鋼建材工業株式会社、神鋼神戸発電株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング & メンテナンス、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、\*神鋼鋼線工業株式会社、\*関西熱化学株式会社、\*日本エアロフォーシ<sup>※</sup>株式会社、株式会社テザックワイヤロープ、\*プロテック コーティング CO.、\*エスアールティー オーストラリア Pty Ltd 他

### 溶接事業部門：22社

エヌアイエル株式会社、青島神鋼溶接材料有限公司、コウベ ウェルディング オブ コリア CO.,LTD. 他

### アルミ・銅事業部門：26社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼汽車鋁部品(蘇州)有限公司、コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ LLC、コウベ プレシジョン テクノロジー SDN.BHD. 他

### 機械事業部門：19社

コベルコ・コンプレッサ株式会社、神鋼造機株式会社、神鋼圧縮機製造(上海)有限公司、\*無錫圧縮機股份有限公司 他

### エンジニアリング事業部門：17社

ミドレックス テクノロジーズ, INC. 他

### 神鋼環境ソリューション：8社

株式会社神鋼環境ソリューション、神鋼環境メンテナンス株式会社 他

### コベルコ建機：35社

コベルコ建機株式会社、東日本コベルコ建機株式会社、西日本コベルコ建機株式会社、成都神鋼工程機械(集団)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、杭州神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司、タイ コベルコ コンストラクション マシナリー LTD.、コベルコ インターナショナル シンガポール CO.,PTE.LTD.、コベルコ コンストラクション マシナリー (USA) INC.、コベルコ コンストラクション イクイップメント インディア PVT.LTD. 他

### コベルコクレーン：12社

コベルコクレーン株式会社 他

### その他：29社

神鋼不動産株式会社、株式会社コベルコ科研、神鋼投資有限公司、コウベ スチール USA ホールディングス INC.、\*神鋼商事株式会社、\*京セラメディカル株式会社 他

## 取締役および監査役、執行役員

※印は、各事業部門長であります。(平成25年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)  
佐藤 廣士

取締役社長(代表取締役)  
川崎 博也

### ■本社

取締役副社長(代表取締役)  
藤原 寛明

常務執行役員  
山口 貢

専務執行役員  
沖田 誠治

常務執行役員  
森地 高文

常務執行役員  
花岡 正浩

執行役員  
三宅 俊也

常務執行役員  
杉崎 康昭

### ■鉄鋼事業部門

取締役副社長(代表取締役)  
※山口 育廣

常務執行役員  
宮下 幸正

専務執行役員  
尾上 善則

常務執行役員  
岩佐 道秀

常務執行役員  
梅原 尚人

常務執行役員  
藤井 晃二

常務執行役員  
宮脇 新也

常務執行役員  
後藤 隆

常務執行役員  
水口 誠

執行役員  
柴田 耕一朗

執行役員  
対馬 靖

### ■溶接事業部門

専務取締役  
※粕谷 強

執行役員  
興石 房樹

### ■アルミ・銅事業部門

取締役副社長(代表取締役)  
※高橋 徹

常務執行役員  
加藤 宏

常務執行役員  
金子 明

執行役員  
藤井 拓己

### ■機械事業部門

専務取締役  
※榎木 一秀

常務執行役員  
大瀨 敬織

執行役員  
松田 彰雄

### ■エンジニアリング事業部門

取締役副社長(代表取締役)  
※田中 順

常務執行役員  
眞部 晶平

執行役員  
森崎 計人

### ■社外取締役

取締役  
北畑 隆生

取締役  
山内 拓男

監査役(常勤)  
大越 年祝

監査役(社外監査役)  
佐々木 茂夫

監査役(社外監査役)  
坂井 信也

監査役(常勤)  
宮崎 純

監査役(社外監査役)  
沖本 隆史

## 会社の概要

(平成25年9月30日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,333億1,324万8,065円
- 発行済株式総数 31億1,506万1,100株
- 株 主 数 217,255名
- 従 業 員 数 10,730名

## 事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号

☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号

☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・新潟(新潟市)・

北陸(富山市)・四国(高松市)・中国(広島市)・

九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海 外 ニューヨーク・シンガポール・上海

(注)「海外」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 〈鉄鋼〉加古川・神戸・高砂

〈溶接〉藤沢・茨木・西条・福知山

〈アルミ・銅〉真岡・長府・大安

〈機械、エンジニアリング〉高砂・播磨

## 神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 6月

基準日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日  
中間 9月30日

公告方法 電子公告

(当社ホームページをご覧ください。)

<http://www.kobelco.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

### 株式に関するご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

#### ①証券会社にお預けの株式について

お預けの証券会社にお問い合わせください。

#### ②証券会社にお預けでない株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

〈郵便物および電話でのお問い合わせ先〉

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

**☎ 0120-094-777**

(通話料無料:オペレーターがお伺いいたします。)

土・日、祝日を除く9:00～17:00

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社にお預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。



この「株主の皆様へ」は環境に配慮し、漂白のために塩素を使用しない用紙、および植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。